は私に對する大打撃で之れも私が辨償して會の動搖を防いだのである、そんな工合で今日私に外部と内部で千五百圓の借財をしてゐるが會の爲に費つた金は大正八年以降三千圓を超過するのである、浮世の裏面を知つた人は寧ろ私に同情してくれてゐるのである外部の借金は遲くも本年末迄には八木の親族が集まつて整理する筈になつてゐる第二は服裝が華美であるといふ問題である、成程私は服裝が勞働者として不似合であるかも知れない（他兵工廠の從業員中には私ヨリ以上の服裝をしてゐる人が澤山あるが）併し之れは何も向上會を組織してからの服裝ではない、人間には何か道樂がある、曰く飲道樂、打道樂、衣裳道樂、女道樂、曰く何々道樂で私は若い時から衣裳道樂であつた、併し本年の春頃からそんな批難があるといふ事を聞いたので努めて粗服を纏ふ事に注意してをつたのである

第三態度が傲慢である、之れは其人々に依つて解釋が異るのであるから敢て辯明の必要はない

財團法人協調會大阪支所